

# 事務事業評価シート

評価年度	平成29年度	対象事業年度	平成28年度
------	--------	--------	--------

所属・担当者氏名	市民部 自治振興課 まちづくり推進係 係長 芳村和啓	評価責任者 (担当課長)	自治振興課長 吉井 護
----------	----------------------------	--------------	-------------

## 1. 事務事業の種類

① 事務事業の名称	公共施設循環バス(きぼう号)運行事業		② 整理番号	
③ 第4次総合計画の施策の体系	章	元気にぎわいのまちづくり		
	節	都市基盤の整備		
	項	道路交通体系の確立		
	号	バス交通ネットワークの充実		
④ 関連する個別計画			⑥ 事務の種類	自治事務
⑤ 根拠法令・条例等	コミュニティバスきぼう号の運行に関する要綱			

## 2. 事務事業の概要

① 目的 (何のために)	公共施設の利用促進及び高齢者等の交通弱者に対する交通の利便性の向上
② 対象 (誰・何を対象として)	公共施設や商業施設等を利用しようとする本市内外の住民及び高齢者等の交通弱者
③ 手段 (どのようなやり方で)	平成28年4月1日より、今まで2台のバスで運行していたきぼう号を3台に増車し、路線も1路線2系統から3路線6系統に増やした。
④ 成果 (どのような効果を得ようとしているのか)	今までカバーできていない空白地域の解消や利用ニーズの高い公共施設、商業施設及び交通機関等の集積する中心市街地等の周遊性向上を図る。

## 3. 投入された年間総事業費及び人件費の推移

※概算人件費は「人件費計算シート」による

(単位：千円、人)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
① 直接事業費	25,928	27,492	27,568	53,322	(予算) 62,500
② 概算人件費	(0.44) 1,726	(0.23) 1,714	(0.23) 1,680	(0.23) 1,631	
一般職員(職員数)	(0.44) 1,549	(0.23) 1,714	(0.23) 1,680	(0.23) 1,631	
嘱託職員(職員数)	107	0	0	0	
臨時職員(職員数)	70	0	0	0	
③ 合計(①+②)	27,654	29,206	29,248	54,953	0
④ 特定財源 (国・県支出金、市債など)					
⑤ 一般財源(③-④)	27,654	29,206	29,248	54,953	0

#### 4. 評価指標

種類	指標名	指標の算出方法等	実績値			
			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
活動指標	① 稼働日数	年間稼働日数	312 日	312 日	313 日	314 日
	②					
成果指標	① 利用者数	年間利用者数	72,046 人	73,408 人	73,024 人	83,530 人
	② 1日あたりの利用者数	年間利用者数/年間稼働日数	231 人	235 人	233 人	266 人
効率指標	① 利用者1人あたりのコスト	一般財源/年間利用者数	384 円	398 円	401 円	658 円
	②					

#### 5. 項目別評価

評価の視点	3段階評価	評価の根拠
①妥当性 (目的及び市の関与は妥当ですか)	A	公共施設の利用促進及び高齢者等の交通弱者への交通の利便性を目的としているため、市の関与が妥当な事業である。
②有効性 (成果は向上していますか、向上していない場合向上のために改善の余地はありますか)	B	平成28年4月1日の路線等の再編後、利用者数は増加している。
③効率性 (コスト・受益者負担は適切ですか、不適切な場合改善の余地はありますか)	B	利用者数は増加したが、元々無料利用者の利用率が高かったところに無料利用者枠を拡大したため、コストがかなり増えている。この事業内容より収支をプラスにする必要はないにしろ、有料利用者の利用促進や運行内容等の精査によるコスト削減を行なっていかなければならない。

#### 6. 今後の方向性 A 現状のまま継続、B 見直し（重点化、縮小、統合など）のうえ継続、C 休止、D 完了・廃止

判定	具体的な改善・見直しの内容（「B 見直しのうえ継続」の場合に限る。）
B	<input type="checkbox"/> 人件費の重点化 <input type="checkbox"/> 予算の重点化 <input type="checkbox"/> 事業の縮小 <input type="checkbox"/> 事業の統合 <input checked="" type="checkbox"/> 実施内容の変更 <input type="checkbox"/> その他 路線等の再編を行いたい、利用者も徐々にではあるが新しい運行形態に慣れてきてもらっている状態である。運行内容等を早急に変更する予定は無いが、利用状況等を注視して、より利用して貰いやすい運行内容にしていく必要はあると考える。

#### 7. 2次評価 A 現状のまま継続、B 見直し（重点化、縮小、統合など）のうえ継続、C 休止、D 完了・廃止

判定	具体的な改善内容・改善計画（「B 見直しのうえ継続」の場合に限る。）